

角田支局記者 藤井宏匡のLet's KAKUDA!

「はじめて」

はじめまして。4月に河北新報角田支局に赴任しました藤井宏匡と申します。名前の読みは「ひろただ」です。少し覚えにくい名前かと思いますが、どうぞよろしくお願いいいたします。東日本大震災後入社の11年目。前任の田村記者と違い、経験も浅く、記者として頼りないところもあるかと思います。そして、年々体重が増え、見た目ばかり貢献がついてしまった33歳ですが、当支局とは引き続き変わらぬお付き合いをお願いいたします。

こちらに赴任する前は本社内での新聞製作・編集に携わっていました。現場での取材は実に5年ぶり。そして、3月16日の地震直後の赴任とあって、どのような仕事ができるか不安は募るばかりでした。幸いにも地域の皆様にご協力いただき、順調なスタートを切ることができました。とはいってもまだ余裕がなく、読者の皆様の期待に沿った情報発信ができていないかと思います。申し訳ございません。

その地震ですが、角田市内では各所で影響が見られます。赴任前から「角田はおいしい飲食店がたくさんあるよ」と耳にしていましたが、支局近くの中華料理店や居酒屋は休業。飲み歩き生活を楽しみにしていただけに残念です。

また、飲食店に限らず、瓦や塀などが崩れている家屋も多くあります。「東日本大震災には耐えたのに…」といった声も多く、道の駅かくだの裏側にある災害ごみの仮置き場のがれきの山が、被害の大きさを物語っています。修理業者さんを心待ちにしている方も多い中、今もなお地震が頻発している印象です。これ以上の被害が出ないことを願うばかりです。

一方、明るいニュースもありました。阿武隈急行の再開です。利用している方々はもちろん、角田駅に笑顔で集う高校生を見て、私もうれしくなってしまいました。まさに「日常」に一歩近づいたのではないかと思います。

河北新報角田支局 藤井宏匡

kakuda@po.kahoku.co.jp

TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707

※連絡の行き違い防止のため、配達関連の連絡は販売所までお願いいたします。→

その日常も、新型コロナウイルスで変化したことが多かったと思います。

角田市では毎月のようにイベントがあったようですが、中止や規模縮小を余儀なくされていたと伺いました。行政としてもイベントを再開させたい思いがあるようです。徐々に感染者が減ってきましたが、また拡大する可能性もあり、とにかく状況が落ち着くことを期待したいですね。まずは、宇宙つ子まつりを楽しみにしています。

赴任して20日ほどたちますが、まだまだ目の前の仕事で精いっぱい。裏を返せば、それだけ取材する物事があるということなので、ありがたいとも言えます。地域の面白いところ、魅力的なところ、時には課題と感じるところ。さまざまな角度から、いろいろな角田を掘り出したいと思います。



災害ごみのがれきの山



再開へ試運転する阿武隈急行の車両

★皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月二十日頃までに、当店へ直接お持ちいただき、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集発行 河北新報目黒新聞店

〒981-1505

角田市角田字泉町137-2

フリーダイヤル (読むニュース)

0120-46-2004

皆様の元気のお手伝いを

第405号

令和4年5月号

【毎月最終日曜日
発行予定】

月刊あんふいに



菜の花巡り

開催期間／

2022年4月23日(土)

～5月5日(木・祝)

5月5日はこどもの日

宇宙つ子まつり

5月5日(木・祝)

5月8日は母の日



編集後記

コロナがなんとか落ち着いてきたかな?っていうタイミングでの先月の地震。本当に心が折れそうでした。片付けもなかなか進みませんが皆様はいかがでしょうか?多くの家屋や店舗でも修繕や建て替えの必要が生じたりと、市内の被害の大きさを改めて感じております。大工さんや屋根屋さん、塗装屋さん設備屋さんと様々な業種の皆さんも復興復旧のためにフル回転していることだと思います。梅雨の前に屋根を直したい、壁を直したい。みな考えることは一緒です。スムーズに修繕が進むことを願っております。また、人の弱みに付け込んだ保険請求の詐欺なども横行しているようですので、どうぞお気を付け願います。コロナ・自然災害・かの国での戦争と何かと物騒でいやなご時世です。とうとう角田でも強盗事件が発生しました。犯人は直ぐに逮捕されたようですがホント怖いですね。いつになったら平穏が戻ってくるのでしょうか?どうか早く、大っぴらに市内の様々なイベントなどを心の底から楽しめる世の中になりますように。

子どもたちの交通事故防止

まだ、交通事故の危険を十分に理解できていない幼い子供たちの『飛び出し』による事故が多発する時期です。通学・通園に慣れていない児童・幼児を交通事故から守りましょう。

1. 大人が手本を示しましょう！
2. 子どもと一緒に通学路を歩いてみましょう！
3. 通学・通園時間帯に街頭指導を！
4. 安全な横断が出来るように指導しましょう！



5月の新聞休刊日は 5月9日(月)です

※新聞休刊日は事務所も含め、全店休業日とさせていただいております。

テレビ・ラジオ欄は
前日5月8日(日)の
朝刊でご確認ください。



次回「あんふいに」は5月29日(日)発行予定です。